

NPO 法人岡崎がくどうの会

2023 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

- 第 1 講義『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』
- 第 2 講義『健康・安全・衛生-1- -子どもの受け入れ、健康管理-』
- 第 3 講義『一日の仕事 -打ち合わせ・記録-』
- 第 4 講義『緊急時の対応 -日々の安全と緊急時の対応-』
- 第 5 講義『健康・安全・衛生-2- -衛生管理・食品管理等日々の衛生-』
- 第 6 講義『保護者との関係・地域関係機関との連携 -保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（つくしクラブ） 【名前】（西村 奏八）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

新任研修は初めて。

Zoom で受けたので職場ではなく自宅。

職場や現地で研修を受ければ気持ちも入りやすいが自宅だとイメージが先行する。

色んな話（講義）を聞いて単純に思う事は「子供の頃は正義のみかたを大人になっても信じていれると思った」

自分は学童保育所で小学校時代を過ごした。今は指導員として色々考える。

それは個々での思いもあるし、研修を通して思うこともある。

保育が終わった後、勤務帰りでコンビニのコーヒー買って今日の保育を振り返る。

自分の出来る事。「またあの子に会って笑わせてあげないと」って。

研修では大人（保育者）は子どもを愛するべきだと言っていた。

自分も大人になって、子どもが見ている現実を知って、子どもって科学では解明出来ないほど力があるんだな、と思う。

バスに揺られ僕の隣には母親の足を小さな手でつかんでる小さい子どもが不安そうに周りを見ている。

その子に自分は特に何をするわけでもないけど、学童の子どもたちはひょっとして自分を待っているのかもしれない。

今できることを考えた時、最後に思うのは「保育に行かなきゃ、そして皆に会わないと。」

研修を通して知ったこと。

まだまだこれから勉強しなければならない事。

たくさんあると思うがそういったものが自分の力になっていくなればこれからは色々勉強していきたいと思った。